



## STOP土砂投入！12.14 海上大行動 のお知らせ



辺野古新基地建設は、胸の痛む赤土土砂投入から、丸3年が経とうとしています。当初この埋め立て用赤土土砂は、必要な森林法上の届けもなく安和鉱山（琉球セメント(株)所有）より調達され、工事完了届も未提出だった琉球セメント(株)私設安和栈橋内へ、赤土防止条例違反の堆積がなされておりました。今から3年前、このように違法性を重ねた埋め立て用赤土土砂が、多くの県民が抗議の声をあげ悲嘆の涙を流すなか、辺野古の海へ投入されたのです。以降も、本来セメント原料搬出を目的として設置を認可された安和栈橋より、辺野古新基地建設埋め立て用赤土土砂は搬出され、観光客も多く利用する本部半島の湾岸道路を赤土土砂を積んだダンプが占拠し、一帯を粉塵で汚染しています。世界自然遺産登録を契機として観光へ期待する県にとっても重大な影響を及ぼす新基地建設工事を、沖縄防衛局は強引に進めているのです。

このほど沖縄県知事は、軟弱地盤が存在する大浦湾側の設計変更を不承認としました。7月末、沖縄防衛局が大浦湾のサンゴ移植を生残率に懸念のある時期に開始したため、県は特別採捕許可を撤回しました。しかし直後には農水相が撤回効力を停止したため、移植に適さないとされる夏場の高水温期・台風期にサンゴ移植は強行され、大浦湾側へ新しいN2護岸建設が急ピッチで進められました。結果、今月初めよりN2護岸からも埋め立て土砂陸揚げが始まっています。

琉球列島は地球上でも稀にみる生物多様性を有するため世界自然遺産登録となりました。その一方で、これらの島々は脆弱な、開発圧に非常に弱い島嶼生態系でもあります。

私たちは、未来へ沖縄の豊かな自然を繋ぐために、辺野古・大浦湾より声をあげます。

報道関係者の皆さまにおかれましては、大変お忙しいなかとは存じますが、ぜひとも海上工事現場へ足をお運びいただき、ご取材を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

**日時 12月14日（火曜日）10時～**

**場所 辺野古 K8 護岸付近海上（雨天、海況によって、辺野古漁港隣接松田浜&沿岸部海上）**

●報道関係者専用船で取材をご希望の場合、事前の申し込みをお願い致します。

（乗船定員に限りがあるため先着順になりますが、何卒ご了承くださいませ。）

**ご乗船される報道関係者みなさまの集合場所／汀間港 集合時間／8時30分**

※大変お手数ですが、必ず12月12日迄に下記アドレス宛、メールにて、ご乗船の予約をお願い致します。

★乗船取材お申し込み本件に関するお問い合わせは [henokoblue@outlook.jp](mailto:henokoblue@outlook.jp) まで★